

平成12年冬季企画展

発掘速報展 大阪2000



大阪市細工谷遺跡出土土器
八尾市小阪合遺跡出土と同開珠

小テーマ展示「古代の出土文字資料」

平成12年1月22日(土)~3月20日(月・祝)

会場／大阪府立弥生文化博物館特別展示室

講演 2月13日(日) 午後2~4時(1時受付) 1階ホール

「発掘された文字の世界」

京都橋女子大学教授 狩野 久

対談 2月27日(日) 午後2~4時(1時受付) 1階ホール

「考古学—21世紀へのメッセージ—」

(財)大阪府文化財調査研究センター理事長 坪井清足
大阪府立弥生文化博物館館長 金関 恕

弥生カルチャーフォーラム 午後2~4時(1時受付) 1階ホール

3月12日(日)

「20世紀の考古学Ⅰ—新聞考古学からの展望—」

京都学園大学教授 岡本健一

3月19日(日)

「20世紀の考古学Ⅱ—20世紀近畿の画期的発見—」

元甲子園短期大学教授 原口正三

主要遺跡の調査成果報告会 午後2~4時(1時受付) 1階ホール

1月30日(日)

「八尾市小阪合遺跡の調査」

(財)大阪府文化財調査研究センター技師 駒井正明

「難波宮跡北西部出土の日本最古の紀年銘木簡」

(財)大阪府文化財調査研究センター技師 江浦 洋

「石器が語る大阪の旧石器文化—大阪市長原遺跡を中心として—」

(財)大阪市文化財協会調査員 絹川一徳

2月20日(日)

「大坂城下町初の陶器焼成窯—大阪市堂島蔵屋敷跡—」

(財)大阪市文化財協会調査員 佐藤 隆

「古墳時代まで遡る中世の一大墓地—茨木市佐保栗栖山南墳墓群—」

(財)大阪府文化財調査研究センター専門調査員 瀬戸哲也

展示解説 毎日曜日・祝日午前11時から 特別展示室

(財)大阪府文化財調査研究センター・(財)大阪市文化財協会職員による展示解説を行います。

主催／大阪府立弥生文化博物館・(財)大阪府文化財調査研究センター・(財)大阪市文化財協会

後援／泉大津市教育委員会・和泉市教育委員会 協賛／帝塚山学院大学・桃山学院大学

http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/
開館時間：午前10時~午後5時(入館は4時30分まで)
休館日：毎週月曜日(但し3月20日は開館)

入館料：個人▶一般400円・高大生300円
小中生・65才以上・障害者手帳を持つ方は無料
団体(20名以上)▶一般320円・高大生240円

所在地：〒594-0083 和泉市池上町443 TEL0725-46-2162
交通：JR阪和線「信太山」駅下車徒歩7分/南海本線「松ノ浜」駅下車徒歩20分
駐車場：普通車80台・大型バス7台 無料